



高原の自然館ニュースレター

# 苅尾電波塔

第 122 号

2014.3.15

高原の自然館

苅尾（かりお）とは、広島県北広島町芸北にある山の名前です。  
一般には臥竜山として知られていますが、地元の人たちは親しみをこめて「かりお」  
の名前をつけています。

## も く じ

### お知らせ

- ー 2014 年度イベント日程について
- ー 高原の自然館の開館日について

### 活動報告

- ー 雪原のトレッキング

### 観察会案内

- ー 山焼き後の雲月山植物観察会

## お し ら せ

### ● 2014 年度イベント日程についてのお知らせ

2014 年度のイベント日程が決まりました。お馴染みのものから、新しい試みのものまで、魅力が盛りだくさんです。詳しくは、裏面の観察会案内をご覧ください。

### ● 高原の自然館の開館日についてのお知らせ

高原の自然館の開館日が近づいてきました。  
今年も、多くの方のご来館をお待ちしています。

開館日：4月25日～11月25日

開館時間：10:00～15:00

休館日：毎週火曜日

（火曜日が祝日の場合、翌日が休館日となります）

# 観 察 会 報 告

## 雪原のトレッキング

開催日時：2014年2月9日（日）10:00

講師：上野吉雄

晴れ間が広がり、110cmの積雪が観測された八幡高原で、雪原のトレッキングが行われました。今回の講師は上野先生です。17名の参加者が高原の自然館前に集まり、それぞれスノーシューやかんじきを履いて雪に覆われた霧ヶ谷湿原へ向けて出発しました。

歩き始めて間もなく、雪の上を歩くユキクロカワゲラを見つけました。晴れた日に活動し、産卵の為に川の上流を目指していることを聞きました。また、トビムシと呼ばれる飛び跳ねるための器官を持つものや、雪の上で静止していたガガンボなど、多くの雪虫が観察できました。

視線を上げると、白と黒の色をした尾の長いエナガ、体が茶色いやマガラ、ネクタイをしているような体色のシジュウカラの群れが近くの木に留まっていました。これは混群と呼ばれ、タカ等の天敵から身を守るために、別の種類の野鳥が、群れを作って行動するそうです。また、社会性が強く、エナガが群れの行き先を決める先導役をしていることを聞きました。

林内は多くの樹木が葉を落としているので、常緑樹であるヤドリギがよく目立ちます。ヤドリギがつける実は野鳥の餌となりますが、多数の実がまだ残っていました。今年木の実や果実などが全国的に豊作のため、各地に野鳥が分散して冬を越しているのではないかと上野先生が解説されました。

霧ヶ谷湿原では、ウサギの食痕があちこちで見られました。斜めに尖った枝先ですぐに分かるそうです。細い枝先は枝元から食べられていて、好物の1つのカラスザンショウは樹皮まできれいに食べられたものもありました。

自然館へ戻る途中では、5羽のイスカが私達の頭上を通り過ぎていきました。イスカは、大陸から渡ってくる冬鳥で、マツ類の実を主食としている。八幡で観察されるのは20年ぶりのことだ、と上野先生は嬉しそうに話されました。

雪の状態や天候が良く、雪虫や動物の足跡がはっきりと確認でき、野鳥も多数観察された、充実した観察会となりました。

（ありみつまさかず）



霧ヶ谷湿原に向かって出発。雪の上や林内など、色々な方向に視線を向ける。



雪の上を歩くユキクロカワゲラ。



ユキクロカワゲラを手にとって観察する。熱に弱いので、直接触らないように、周りの雪ごと持ち上げた。



混群の先導役となるエナガ。群れの中には、ヤマガラやシジュウカラの姿があった。



ウサギの食痕を解説する上野先生。周辺ではフンも確認された。



例年と比べ、多数の実を残すヤドリギ。

### 【みなさんの印象に残った物】

「ウサギのフン、あしあと」「雪の上の微生物を食べて虫が暮らしていること。自然界を生き抜く知恵」「雪の中で見るトビムシ、エナガとイスカの鳥達。収穫はたくさんありました」「野鳥のイスカを見たこと」「雪原 walk」「1メートル以上積もった雪景色(2)」「外で歩き、自然にふれることがよかったです。カエデの種を発見できたことです」「ウサギのたくさんの足跡」

### 【参加したみなさんの感想(抜粋)】

「寒かった」「質問にたくさん答えてもらい良かった」「次回も参加したいです」「次回も時間があれば参加します」「雪上歩行はしんどい」「気持ち良い空気の中で素敵な時間を過ごすことができました。説明も分かりやすく楽しかったです」「冬のトレッキングは初めてでしたが、とてもいい経験になりました」「楽しかったです(2)」



雪に覆われた霧ヶ谷湿原。時折舞う小雪が、陽光でキラキラと輝き、私達の目を楽しませてくれた。



## 観 察 会 案 内

観察会に参加される時には、次のようなものを持参してください。カメラ、双眼鏡、ルーペ、図鑑などもあれば、楽しいと思います。

**基本セット**：山を歩ける服装、雨具、飲み物、おやつ、筆記用具、メモ帳  
**作業セット**：作業ができる服装、長靴、軍手、雨合羽、飲み物、おやつ

### ●山焼き後の雲月山植物観察会

開催日時：2014年4月26日(土) 9:30  
集合場所：芸北文化ホール  
講師：大竹邦暁、佐久間智子、和田秀次  
準備：基本セット、お弁当  
定員数：40名  
参加費：一般=300円、賛助会員=100円  
正会員・中学生以下=無料

山焼きから2週間、火入れが雲月山にどのような変化を与えたのか、歩きながらゆつくりと観察しましょう。下山は午後となるので、お弁当の準備をお願いします。山焼きが中止となった場合でも、観察会は行います。



※観察会の日程は変更となる場合があります。詳細については、電波塔またはホームページにてお知らせします。

### ●2014年度の観察会日程

< 2014年 >

- 4月 27日 春の溪畔林の植物観察会
- 29日 カスミサンショウウオの産卵調査
- 5月 10日 サクラソウの観察会
- 17日 大潰山の春植物観察会
- 18日 ブナ林の野鳥観察会
- 6月 7日 龍頭山の野鳥観察会
- 15日 モリアオガエル観察会
- 22日 霧ヶ谷湿原の植生調査(夏)
- 7月 13日 ブッポウソウの観察会
- 21日 夏休み親子観察会
- 26日 カワシンジュガイ探検隊
- 8月 3日 可愛川の水生物観察会
- 9月 15日 せどやまの植物観察会
- 20日 霧ヶ谷湿原の植生調査(秋)
- 10月 4日 サツキマスの産卵床作り
- 未定 サツキマス保全の試み
- 未定 キノコ観察会
- 11月 3日 紅葉・冬芽の観察会
- 9日 ゴギの産卵観察会
- 15日 八幡高原の野鳥観察会
- 12月 6日 かんじき作り

< 2015年 >

- 1月 17日 冬を生きる動物の生態
- 2月 8日 雪原のトレッキング
- 3月 7日 早春のトレッキング

< 日程未定 >

- 湿原の昆虫観察会
- 霧ヶ谷湿原 夏のいきもの観察会
- 霧ヶ谷湿原 秋のいきもの観察会
- 深入山の植物観察会

マンサクが咲き、雪解けの霧に包まれる日もあり、春の訪れを目や肌で感じています。3月の初めには豊平・芸北にて自然学術調査報告会を行いました。多くの方にご来場いただき、各分野の先生方から見た北広島町の特徴や身近な自然などを、改めて理解・認識できた報告会となりました。これを機会に家の周りのちょっとしたものにも注目したいと考えています。(ありみつ)

記事に関するお問い合わせ、観察会のお申し込み先  
(ご意見・ご感想もお待ちしております)

高原の自然館(こうげんのしぜんかん)

〒731-2551 広島県山県郡北広島町東八幡原119-1

tel. & fax : 0826-36-2008

<http://shizenkan.info/>

[staff@shizenkan.info](mailto:staff@shizenkan.info)